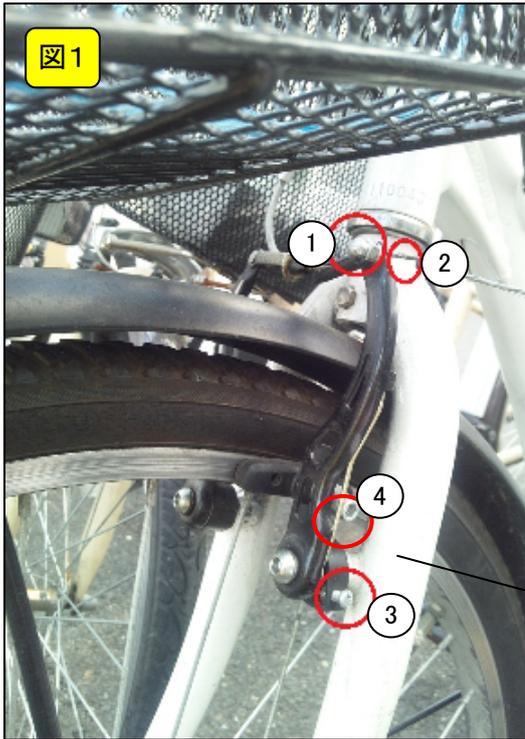
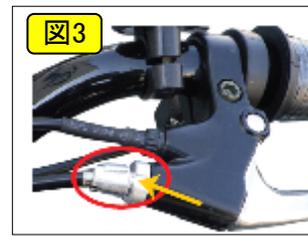
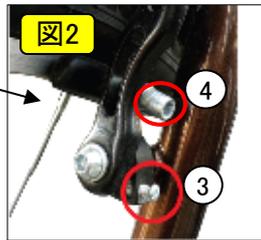


## Vブレーキ調整方法（前輪）

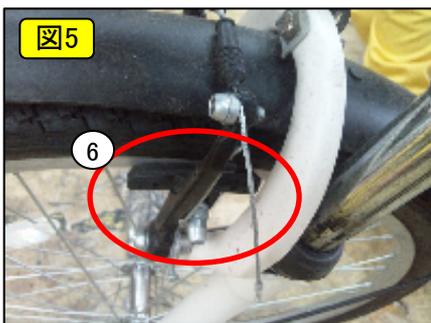


- 1 フレーキを握って固さを確認して下さい。  
「図3」の矢印部分を手で回して調整して下さい。  
※ブレーキを握る固さ、ブレーキの利き具合がある程度調整出来ます。「図3」の調整をまず試し、それでも利きが甘かったり、左右の具合が違うなら「2」へ。
- 2 再度ブレーキを握って固さを確認して下さい。  
固い→ ②のワイヤーをペンチで挟みながら①を緩めワイヤーを少し戻します。その後①を締め直して下さい。  
緩い→ ②のワイヤーをペンチで挟みながら①を緩めワイヤーを少し引っ張ります。その後①を締め直して下さい。  
※どちらの状態でもなければ「3」へ進んで下さい。

※①のワイヤーを調整する時は先に②のワイヤーをペンチで挟みながら調整します。  
(②のワイヤーを挟んでおかないとバネの力でワイヤーが大きく動いてしまいます。)



- 3 左右の幅を確認して下さい。  
※ 左右のすき間が同じか確認します。「図4」⑤参照。  
→すき間が小さい方を締めます。  
右側のすき間が小さいなら、「図1・図2」の右側の③を締めて下さい。  
(左側なら「図1・図2」の左側の③を締めて下さい。)
- ※ 左右どちらかがブレーキを握ってもブレーキシューが動かない。  
→動かない方の③を締めて下さい。



- 4 フレーキ調整が完了したかの確認をして下さい。  
最後は前輪部分のみ自転車を持ち上げてタイヤを手で回して下さい。
- ※ 急に減速し、ピタッと止まる場合や最初は勢い良く回っても途中で急に減速する場合はブレーキシューがタイヤに対して水平になっていません。  
**惰性で止まる場合は問題ありません。**  
調整するには「図4」のブレーキシューがリムに対して水平になっているか確認して下さい。「図5」⑥参照。  
※水平になっていなければ、「図1・図2・図6」にある④を緩め、手でブレーキシューを水平に直し、もう一度④を締めて下さい。
- ※ 後輪ブレーキは「図2」の後輪ブレーキ側を調整、もしくは「ブレーキ調整方法（後輪）」を参照して下さい。

ネットショップ【Santasan】  
<http://shop.santasan.net/>  
 電話：072-672-7643（平日午前11時～午後4時）  
 FAX：072-672-7674（24時間受付）  
 Mail：santasan@santasan.net